

吟道月報

NO23
49.6.5

碩心会

未て下さったので一層拍車を掛けて向上した。

八月に入り支部にとり真に残念

長柄支部の歩み

支部長 根岸 治山

長柄支部は四十三年五月 地元に住居の根岸是宏先生の肝入りで、故郷岸清先生により設立された。当初練習に集った者五名で、清先生先生の指導で開始された。敵場は集会所の一室を借りた。

六月に入り数名の入会者があつて漸く軌道に乗り出した毎週火曜日を練習日と定め、老いも若きも精一杯練習に励んだ。清先生先生の御指導は細微を盡した。例えは、太田道灌を完成するのに一ヶ月余を掛けて念入りに指導せられ、各人毎に発声法等熱心に指導されたので目に見えて上達した。此の頃から次第に入会する者が多くなり二十名に達した。是宏先生が時折指導に

な争が起きた。中老組で熱心家であつた根岸シナさんか練習中に倒れ、急逝された者であつた。其の後何んとなく老年者に動搖の色が見え退会する者が、ぽつぽつと出初めた。

四十四年八月、地元御聖神社の祭礼に当り奉納吟詠会を開催した。境内に設けられた舞台を借りて会場とした。会員一同の合吟に始まり、会員の独吟が続ぎ途中、根岸是宏、加藤秀岳、竹石颯風の各先生の名吟を柳ぎ、詩舞を中村愛風、千葉剣風、香風の先生方並に門下の方々の御力を借りて盛大に、此の催を終ることが出来た。

四十五年八月、前年高杯奉納吟詠会を開催した。根岸是宏、井沢朝風、竹石颯風の諸先生並に詩舞として三井要岳、小林紫舟、中村愛風の先生方及門下の方々の応援によって、立派に会を終ることが出来た。

四十五年暮、根岸清宏先生が突然病気の爲入院され
会員一同、我輩の存に心痛した。

四十六年一月、清宏先生が急逝された夢の杯は出来
ずであつた。長柄支部設立の親として積極的に吟道に
盡力され会員一人一人に植付けられた力は大きい。会
員一同涙にくれて葬儀に参列した。其の後放場を中断
することは清宏先生の御遺志にも反するので、豊岳先
生に御願ひして来て戴く事になつた先生の御訓の空さ
が月曜日以外になつたので、練習日を月曜日に変更
した。然が放場の都合が付かず、止むなく近所の寺の本
堂別向を借り受け、文字通り寺小屋授業が始められた。
豊岳先生の細い処に行届いた御指導で一段と上達した。
四十七年三月、豊岳先生が一色放場に去られて、代
りに竹石颯風先生が地元で居られたので指導される事
になつた。熱心な御指導で暑中も休講せず函索二年余
現在の会員数は十二名の少数ではあるが、其の質は向
上心に満ち一意専心練習に励んでおります。

四十九年四月、神奈川県青少年吟道大会に願心会代表
として、美野照泉さんが出吟。大いに氣を吐いて戻りま
した。

以上記録がない爲、憶い出すままの大略を記しました。

建設支部の歩み

支部長 村田 紘泉

まだ日が浅いので、歩みにもありませんが、ご紹介さ
せて頂きます。

昭和四十六年六月、建設組合の中にも趣味として詩吟
部を設けたらどうかと、現在堀内支部の秋元梁山さんの
發案で呼びかけがあり、私も直接お誘いをいただいた。
七月末、組合事務所（現放場）へ集つた。有志の人達は
宗形亨、宗形セツ子、佐藤秀夫、村田善基、山本正司、
菊谷政一他に二、三名の人達で、毎土曜日に井沢、小峰
所先生の御指導で堀内支部建設放場として発足致しまし
た。そして、菅原道真の九月十日から稽古を初めました。

今になつてわかつた事ですが、道中からではなく、初歩のものから練習出来たと言ふ事は恵まれていたと思ひます。八月根岸先生が当会場に見えて高い声を出す

杯にと、しごかれた者が、強く印象に残つて居ります。十二月下旬征夫さんが入会しました。二、三名の退会者もありました。四十七年に入って二月竹重さんが入会、つづいて四月三十日図書館ホールで頑心会再建十五周年記念大会に参加、トップを切つて全員七名で大瀬公を合吟しました。何しろ始めての大会出吟と言ふ事で、ステージの脇で出を待つ間も胸はドキドキ、体はびるびるで終つてからもしばらく止まなかつた事を今でも覚えています。時折、堀内支那の中村さん、佐々岡さん、石渡さん等も来られて、種々名吟を凶かせていたりました。

松井岳洋先生も時々お見えになつて、御指導下さいました。丁度一年をまた八月頃、堀内支那から離れて独立する杯にと言われ、ここに現在の当支那が誕生し

た訳です。此の間も創業者の秋元さん、先輩の中山さんは、毎週程当会場に見えて和気あいあいの中にも熱心に練習に励みました。

十月鈴木政二さんが入会、十一月三日文化の日、葉山町福祉会館で詩吟詩舞発表大会が開かれ、独吟で参加致しました。十二月、独立して最初の納会を此の一年も熱心に御指導下さつた井沢、小峰両先生を始め松井先生三井会長、堀内支那部長加藤列風さん、秋元さん中山さん当会場隣りの吟友会所属鈴木南山さん等お招きして、吟あり歌あり踊りありと和やかな内にも賑かに吟納めを致しました。

四十八年一月二十二日、建設組合の定期総会では各支那に所属している組合員で「祝賀の詩」の合吟をしましたが、又違った雰囲気なので、緊張しました。二月に入つて、神保英一さんが入会、四月八日堀内支那十周年記念大会に宗形、村田、山本の三名が出吟させていただけました。会員の皆さんの熱吟、会の進行等仲々立派な大

会でした。

その途中、大船支部の平本さんが吟詠中突然ステータで倒れましたが、幸いにも軽症との事で、我々もホッとしましたが、倒れる程吟に精神を打込んだ姿には深く感激致しました。五月十三日、県本部主催、横須賀地区吟道大会が衣笠の行政センターで行われ、村田喜基が出吟させていただきました。この大会は、開会から閉会まで熱吟又熱吟、休憩時間が全然なく、途中席を立つのか指し、他の熱気に溢れた大会でした。

六月三日、図書館ホールで連盟の発表大会が開かれ、当支部より、泉形喜泉、下谷征泉、竹重訓利の三名が出吟しました。

この頃から、井沢先生の奥さんや、近所の小峰さくさん、飯田マフさん、七月には小峰勝治さん、九月は鈴木ナカさんと、井沢先生のご努力があつて、嬉しい経会員が増えました。敬壇を人員の都合で井沢先生宅

をサニ敬壇として毎水曜日に熱心に稽古に励んでいます。十月六、七日長野県諏訪市の佐嵐先生主催吟行会は、当支部から四名参加させて頂きました。各支部の吟友と往きも滞りも和気あいあいと交流を楽しみ、吟あり、歌もあり、其の他種々と収穫があつた事と感しています。

十一月四日、逗子市の文化祭が図書館ホールで詩吟詩舞発表大会が開かれ、蒲谷、佐藤、村田の三名が参加出吟しました。

この月に菅野昭彦さんが入会しました。四十九年一月、堀内支部所属の小池さんが、勤務先の時間の都合で移籍しましたが、当支部発足以来二ヶ年余、哀榮と共にして来た蒲谷喜泉さんが、健康の都合上退会しました。再入会を約束しましたが、指し争ひました。

四月七日、逗子図書館ホールで県本部主催、青少年吟道大会には、当支部より下谷征泉さんが出吟され、若者に溢れた盛大な大会だった。

四月に入つて井沢勝治さん、角田政吉さん黒田昌

司さんが入会され二十名の大台になりました。ヤ一

敬場は毎週土曜日、遠子郵便局前の事務所、ヤ二

敬場は毎週水曜日葉山の井沢先生宅で、熱心な稽古

と和気あいあいの雰囲気、吟書を上げてありますの

で、各支節の吟友の皆林には是非あいで下さる林お

待ち致して居ります。早いもので発足以来三年にな

りますが、これも皆、各諸先生方の和と、ご熱心な

御指導に依るものと感謝致して居ります。これから

も我々一同、吟道に精進致す所存でありますので今

后共、尚一刃のご指導を賜ります林、未筆ではあり

ますがお願い致しまして終らせて頂きます。

県本部関係

五月二十六日藤沢市公民館で総会開催、左記によ

る県本部二十周年吟道大会を開催すること決定さ

れました。

記

日時、九月八日(日)九三〇〜一八一〇

会場、横須賀市文化会館大ホール

招待吟詠、他流派八名を加え、六十五名

各支節大会吟 (二〇名以上)

地区代表吟、横須賀地区二十六名

立休吟、神奈川探訪吟舞約一時間

尚、決心会よりの出席は、決定次第お知らせします。

決心会本部関係

◎ 秋季昇任審査会は、諸種の都合により、九月一日(日)

となりました。例年より約半月早いです。ご了承さ

し、七月中に資格審査を行います。

◎ 温習会を大々的に行い吟の練成と会員の親睦交流を計

り度いと思ひます。今年は九月二十九日(日)図書館木

トルで行います。出吟無料、守当の注文(二百五十円)を

受けます。一〇、〇〇〇〜一六、三〇〇。各支節の割当時間

は、本部費納入数を基礎として左の通りです

- 童子(30分) 桜山(18分) 沼面(20分) 堀内(80分)
- 一色(28分) 長柄(16分) 下山口(22分) 吟甫(10分)
- 大船(32分) 松和(16分) 戸塚(14分) 建設(16分)
- 紫舟(8分) 富士見(6分) 山ノ根(6分) 銀詠(16分)
- 華簪(6分)

各支部毎に連吟、合吟、立体吟を含め、全員参加出来るよう案画し、八月十日までに吟題出吟者名を総務千葉までお知らせ下さい。

尚約二十分の余分時間がありますから、立体吟用になりますので、時間不足の支部は申し出て下さい。

◎ 松井岳洋先生愛吟集ヤ三集が出来上りました。

内容は柳河洲の墳に遇して作あり(386) 生田に宿す(325) 正気の歌を瀬武夫(116) 六瀬中佐(112) 書齋前右衛門(366) 1/84 白頭吟(314) 母の心(388) 母(非行少年の歌)(新作8) 桂林

花雅詠(317)、ふるさと(5/128) ふるまじは(5/4) 御希望の方は、各支部毎に取まとめ、総務まで申し出て下さい。

◎ 松井岳洋先生愛吟集ヤ一集の文天祥正気の歌と藤田東湖の正気の歌の詩文と、それに裏封付したプリントを作りました。各一部三〇円で配布します。要望の向は、支部毎に総務まで申し出て下さい。

会員の異動

退会役員

55 堀内支部	高木宏山
27 大船支部	新倉和夫
272 大船支部	藤井克彦
吟甫支部	佐藤秀夫
堀内支部	中根信治

◎新全職員

建設支部	井沢 勝治	亶子市桜山4の13の12	電〇四六八	71	〇六七八
建設支部	角田 政吉	葉山町堀内六九	電〇四六八	75	二七二七
建設支部	黒田 昌司	葉山町堀内六五〇	電〇四六八	75	一四二八
下口支部	須藤 勉吉	葉山町下山口一九三七	電〇四六八	75	一七六一
亶子支部	安田 貞子	亶子市亶子7の3の49	電〇四六八	73	四六四九
葉警支部	鶴野 良純	藤沢市片瀬3の11の20	電〇四六六	23	一、一六四
堀内支部	渡辺 勝	横須賀市長井町二、三、六、四	電〇四六八	56	八一九四
堀内支部	一之瀬 英明	葉山町堀内六七一	電〇四六八	75	〇四三〇
堀内支部	一之瀬 保江	同	石		

住所変更

19. 猪田和風

葉山町一色六六五―二

電〇四六八

75

七三七五に転居